

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		国民健康保険対策事業				
	担当課・係名		町民生活課 国民健康保険係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	02 健康づくりの推進	
項		01 社会福祉費	小分類		02 特定検診・特定保健指導の推進		
	目	03 国民健康保険対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		66,075	66,075	58,876	58,876	58,116
	財源 内訳	国県支出金	29,378	29,378	23,811	23,811	22,872
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	36,697	36,697	35,065	35,065	35,244
※H27・H28予算は最終予算額。H29は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
国民健康保険被保険者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
国民皆保険制度の根幹をなす国民健康保険制度の円滑な運営を図るため、保険基盤の安定に必要な諸施策を講じることを目的とし、国民健康保険被保険者への安定した保険給付等を実施する。							
⑤	事業概要						
国民健康保険事業運営に係る保険基盤安定負担金の繰り出し ※被保険者数等 ・世帯数 906 世帯 ・被保険者数 1,632人（H31.3月末現在） ※H30繰出金内訳 ・保険基盤安定負担金 31,748,799円 ・人件費 17,218,000円 ・保険財政安定化支援事業分 1,841,000円 ・出産育児一時金 1,400,000円 ・事務費分 6,548,000円 ・乳幼児医療費分 120,000円							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
少子高齢化、産業構造の変化、高度医療化等様々な要因により毎年医療費が増加して、国保財政は大変厳しい状況下にある。H27年度は一般会計の繰り出しによる財政補填を実施した。また、社会保障制度の改革に伴い関係法令が改正され、H30年度から国保の都道府県化に移行した。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
・国民健康保険法 ・色麻町国民健康保険条例							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

<b>⑩ 目的妥当性の評価</b>	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	国民健康保険法に基づき国民健康保険被保険者への保険給付を実施している。
<b>有効性の評価</b>	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	国民健康保険法に基づき適正に事業を展開している。
<b>効率性の評価</b>	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	被保険者数は年々減少しているが、医療費総額は減少しておらず、一人当たりの医療費は増加している。H24、H25年度に国保税率の引き上げを行ったが、H26年度は被保険者の負担増を考慮して、不足分については基金取り崩しを行うことにより事業運営を行った。平成27年度、28年度、29年度は法定外繰入金なしで運営することができた。
<b>達成度の評価</b>	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	事業は適切に行っているが、国保財政は厳しい状況である。今後は、H30年度からの都道府県化を視野に入れながら事業運営をしていく。

<b>⑪</b>	課長総括評価 今後とも医療費の抑制・国保税の収納率向上等を図り、効果的な保険事業を実施する必要がある。
合計点 50	
今後の方向性	現状のまま継続

<b>⑫</b>	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		後期高齢者医療対策費				
	担当課・係名		町民生活課 国民健康保険係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	02 健康づくりの推進	
項		01 社会福祉費	小分類		02 特定検診・特定保健指導の推進		
	目	09 後期高齢者医療対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		105,257	105,211	106,732	106,732	98,330
	財源 内訳	国県支出金	15,184	15,185	15,067	15,067	11,214
		その他特定財源	0	5,033	0	0	0
		一般財源	90,073	84,993	91,665	91,665	87,116
※H27・H28予算は最終予算額。H29は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 後期高齢者医療被保険者（75歳以上の方及び65歳以上75歳未満で障害認定を受けた方）						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 平成20年度から施行された後期高齢者医療制度（長寿医療制度）の円滑な運営を図ることを目的とし、運営は宮城県後期高齢者医療広域連合が行うことにより、高齢化率の上昇に伴う適正かつ確実な医療サービスが提供できる。						
⑤	事業概要 宮城県後期高齢者医療広域連合の運営に係る事務費・療養給付費等の繰出しと市町村事務の実施 ※被保険者数 1,156人（平成31年3月末現在） ※広域連合負担金等・療養給付費負担金 75,776,223円 ・共通経費負担金 3,649,215円 ※繰出金等内訳 ・事務費分 2,522,000円 ・人件費分 5,558,000円 ・保険基盤安定負担金分 19,225,697円						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 後期高齢者医療制度が発足して数年が経ち、今後は持続可能な医療保険制度の構築が必要とされる。保険料の軽減等の改善点も多くあることから、内容を把握し対応して行かなければならない。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） ・高齢者の医療の確保に関する法律 ・宮城県後期高齢者医療広域連合条例 ・色麻町後期高齢者医療に関する条例						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	後期高齢者医療保険料 特別徴収	単位： %	実績値 目標値	100 0	100 0	100 0	
定義							
B	後期高齢者医療保険料 普通徴収	単位： %	実績値 目標値	99 0	99 0	100 0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	後期高齢者医療保険料 特別徴収	単位：	実績値 目標値	25,670,700 0	25,636,800 0	29,432,300 0	
定義							
B	後期高齢者医療保険料 普通徴収	単位：	実績値 目標値	8,512,100 0	10,627,300 0	12,541,500 0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	宮城県後期高齢者医療広域連合が事業主体となり、委託事務等を市町村が行っている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	宮城県後期高齢者医療広域連合条例及び色麻町後期高齢者医療に関する条例に基づき事業を展開している。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	各市町村の被保険者数、医療給付費等に基づき負担規模が設定されているので適正である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	概ね目標を達成している。

⑪	課長総括評価 制度の改善は必要なものの、概ね順調に運営されている。被保険者にも浸透しているため、現状のまま継続する。 合計点 50
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	